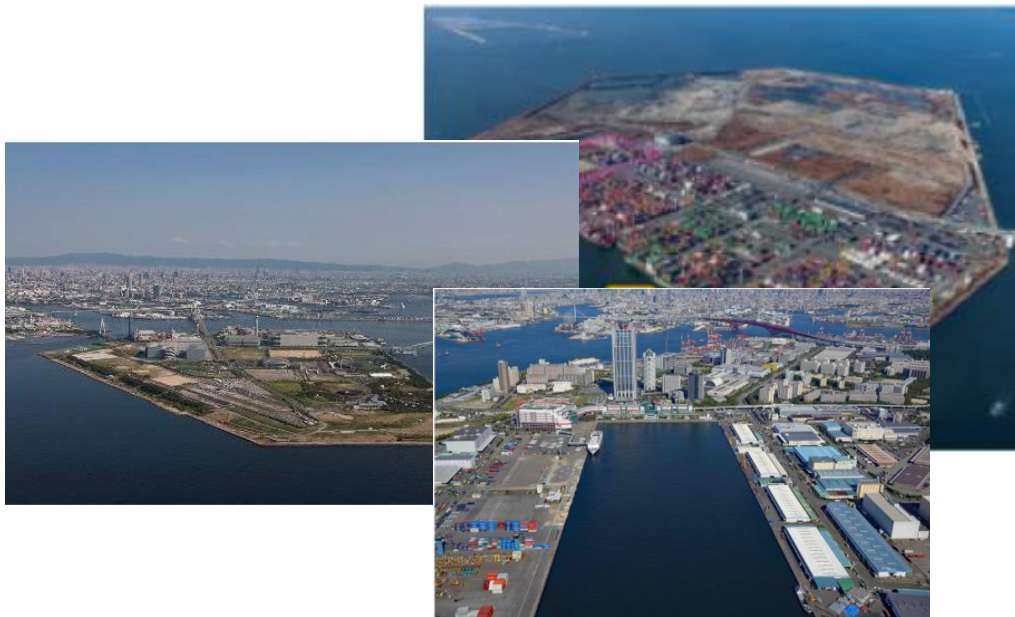


《夢洲・咲洲・舞洲地区》緑化等の方針について



1. 地区の特性まとめ
2. 前回審議会でのご意見
3. 緑化等の方針（素案）

1. 夢洲・咲洲・舞洲地区の特性まとめ（前回審議会資料）

○立地特性・土地利用について

- ・【夢洲】現状はコンテナターミナルや物流倉庫などを除き、施設等がほとんど無い
- ・【咲洲】周縁部は物流施設、北部は業務施設、南部は共同住宅などが占める
- ・【舞洲】東部は物流施設、西部は屋外レクリエーション施設などが占める

○関連計画・まちづくりの動きについて

- ・【夢洲】IRや2025大阪・関西万博会場、夢洲駅の開発が予定されている
- ・【咲洲】コスモスクエア地区では、ゾーニングを踏まえた民間開発などが進められている
- ・【舞洲】プロスポーツチームとの連携などにより、スポーツ・レクリエーション機能の向上を図っている

○みどりの現況について

- ・ 咲洲や舞洲にはまとまった面積の緑が多く存在し、大規模な公園緑地もある

2. 前回審議会でいただいた主なご意見

【増田会長】

豊かな大阪のなにわ潟という干潟が持っていたポテンシャルのようなものをどう考えていくのかという点が抜けているので、海や水面と一体的に考えていただきたい。

【寺川委員】

この地区では、大阪市内で唯一「圧倒的」という言葉を使ってよい場所だと思うので、そのポテンシャルをどう活かしていくか。現時点の緑の状況を押さえ、100年計画でどのような緑を置いていくのかということを計画の中できちんと示す必要があると思う。

【前田和彦委員】

夢洲、咲洲、舞洲は、それぞれかなり特徴が違ってくるので、エリア設定をしながらそれぞれの方向性を検討していくことが現実的であると思う。

【増田会長】

臨海部の開発では、まず全部を緑で覆ってしまい、そこから必要なところに都市開発を入れていくことがよくあるが、IRや万博の会場においてもそういうことが考えられないかと思う。

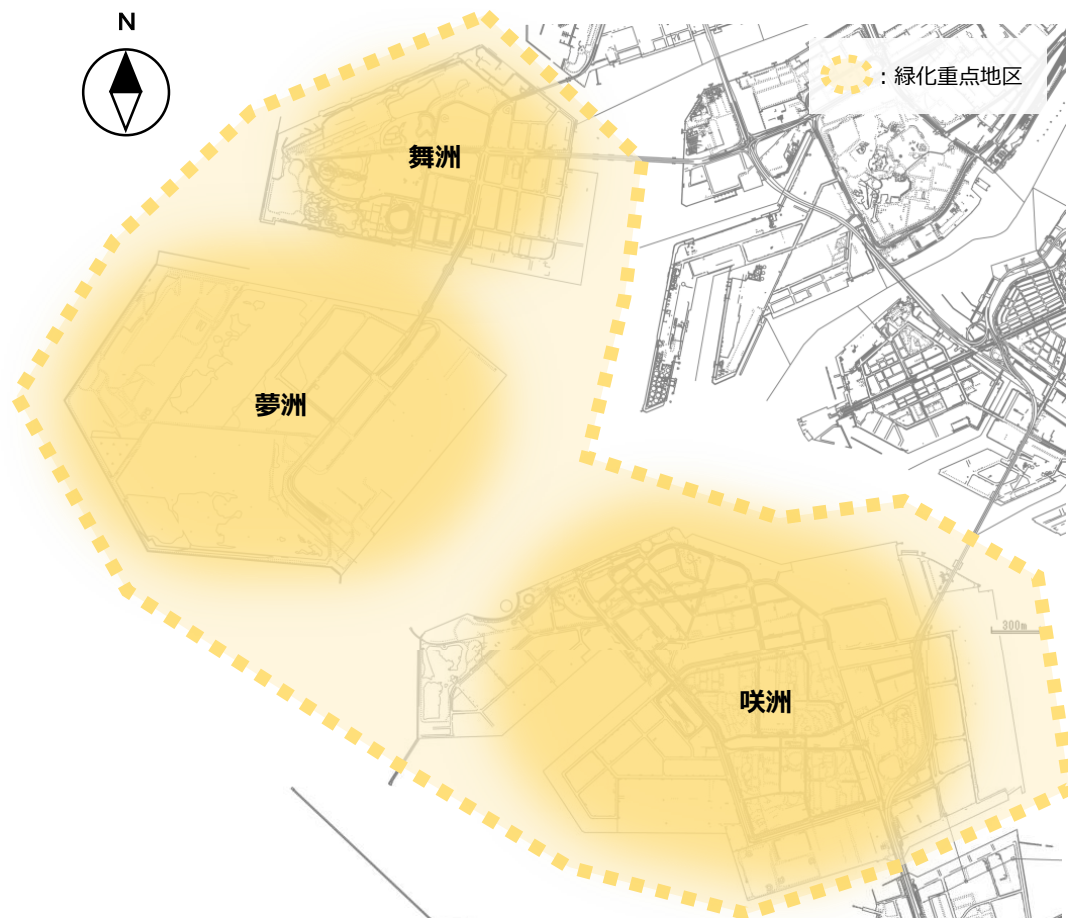
【赤澤委員】

ベイエリア全体として、尼崎から西宮のグリーンベルトとして考えるという観点もあると思う。

3. 夢洲・咲洲・舞洲地区の緑化等の方針（素案）

■ 対象範囲の考え方

- ・ 夢洲・咲洲・舞洲とも広大な緑とオープンスペースを有しており、それらの保全・充実が求められるエリアである。
- ・ 周辺の水域も含めた**夢洲・咲洲・舞洲全体を緑化重点地区として設定し**、生物多様性の保全や水辺景観の向上にも寄与する緑化等を推進する。



3. 夢洲・咲洲・舞洲地区の緑化等の方針（素案）

－ 基本方針 －

大阪随一の豊かな自然と調和した
洲ごとの個性を活かしたみどりのまちづくり

個別方針①

地区全体での豊かな
みどりの保全・創出

- (1) 豊かな自然を感じられる緑地等の保全・創出
- (2) 生物多様性や景観を意識した水辺のみどりの維持管理

個別方針②

洲ごとの個性を活かした
みどりの創出や活用

- (1) 【夢洲】 今後の民間開発と協調した非日常感を演出するみどりの創出
- (2) 【咲洲】 居住者や来訪者の幅広い利用に対応した多様なみどりの維持・創出
- (3) 【舞洲】 都心部では体験できないスポーツやレクリエーションの場としての利活用